

参加をお待ちしております

研究会紹介

(記事：下地芳郎)

ホスピタリティ・デザイン研究会 (幹事：6期生/阿部慎一)

1 研究会の趣旨

「ホスピタリティ」の意義や効果などを経営管理の視点から研究する自主研究会です。今年から本格的な活動を始めました。宿泊、観光などのホスピタリティ産業の従事者だけでなく、小売、教育、情報サービス、非営利など様々な業界の方々が会員として参加しています。異業種間の交流を通じ、楽しく、真剣に活動を行っています。

2 活動の内容

ビジネスデザイン研究科現役生を中心として

活動しています。7期生を新たに迎え、現在約20名の会員数。おおよそ月1回をメドに研究会を開催しています。活動としては、①テーマに沿った討議、事例を用いたケース・メソッドなどの勉強会、②「ホスピタリティ」や「サービス」に関する研究成果の出版プロジェクト（今年度の出版を目指しています）、③ゲスト・スピーカーを招いての講演会の開催、④志賀高原観光ユニバーシティなどOBを交えての勉強会などです。その他OB・OGとの懇親会や合同合宿などの交流も行っています。研究会にご興味のある方は幹事の阿部までご連絡下さい。



(連絡先：阿部 07vg002h@rikkyo.ac.jp)

Business Study Network (BSN) (幹事：2期生/永岡英則)

1 研究会の設立経緯と主旨

BSNは企業経営に広く関心を持つメンバーが集まり、さまざまなテーマに基づき発表や議論を行っていく「場」を作ることを主旨に、2005年に設立されました。ビジネスデザイン研究科2期生が中心となって発足し、ビジネスデザインOB・OG・現役生のみならず、外部からも参加されており、メンバー総数は約120名です。

現役生はもちろん、ビジネススクールを修了してもなお、経営の各テーマに関心を持ち、知的な刺激を求めている方は大勢います。そしてそのような高度な問題意識と志を持った方々が出会い、交流する場は、何にも代えがたい価値を生み出すこととなります。

ビジネススクールに集まっている方々の中には、各分野において高度な知見や経験をお持ちの方が多くいらっしゃいます。そうした方に得意な分野での発表をしていただいたり、ゲストスピーカーとして外部講師をお招きしたり、その内容について議論し合えるような活動を継続的に実

施していくことで、多くの方に充実した時間を提供できると考えております。

2 活動の内容

現在は不定期ですが、少なくとも年に2回、研究会を開催しています（過去3年間で9回開催）。過去の発表タイトル（例）は以下の通りです。

- 「ベンチャー投資について～ベンチャーキャピタルから投資を受けますか？」
- 「新規株式公開IPO (Initial Public Offering) と挑戦への道 — 企業の競争優位性—」
- 「ベンチャー企業の広報戦略 — 立ち上げから継続フェーズまで」
- 「新聞広告から見たクロスメディア戦略」
- 「ネットビジネス立ち上げの実際」
- 「キャラクタービジネスのマーケティング戦略」
- 「産官学民協働モデルの構築を目指して— NPOバンクにおける試み—」
- 「新時代の口コミマーケティング～化粧品ポータル先進事例より～」
- 「インフラストラクチャーファンド～グローバル



に広がる背景とその果たす役割～」参加ご希望の方は、ホームページよりお申し込み下さい。（無料）
メーリングリスト登録をして、研究会開催時にメールで案内を差し上げます。
<http://bsn.ne.jp/>
幹事も募集しております。一緒に研究会を作りませんか？

学校経営研究会 (幹事：6期生/朴澤憲治)

1 研究会の趣旨

2007年5月に立ち上がった研究会です。学校の経営や教育に関心のあるメンバーがそれぞれの関心事項をプレゼンテーションし、月1回程度でディスカッションを行い、メーリングリストで情報交換をおこなっています。研究もさることながら、学校業界を中心としたネットワーク作り及び親睦も目的としております。学校関係の方や教育に関心のある方のご参加をお待ちしております。

メンバーは、専門学校、予備校経営者、大学教

職員、専門学校教員、立教大学職員、その他教育に関心のあるメンバー15名です。4期生～6期生、21世紀社会デザイン研究科の方もいらっしゃいます。7期生には2名の参加をいただきました。

今後は、短期大学についてと、立教大学の運営について、プレゼンテーションとディスカッションがなされる予定です。随時メンバーは募集していますので、学校経営、教育に関心のある方々の参加をお待ちしております。ぜひお気軽にお問い合わせください。

(連絡先：朴澤 07vg082s@rikkyo.ac.jp)

2 活動履歴

- ・専門学校の学生のモチベーションアップ策について
- ・学生スポーツが果たすブランド構築を考える（六大学野球観戦ツアー）
- ・学校における組織文化の構築について
- ・地方大学の生き残り策について
- ・日本の女子高等教育について
- ・名門女子大学の復活策について

医療経営研究会 (幹事：1期生/山下恭司)

1 設立の趣旨

近年の財政制約、患者ニーズの高度化・多様化など、医療を取り巻く環境が大きく変わる中、限りある経営資源を効率的、効果的に利用した、社会が求める質の高い医療サービスを提供するためには、医療機関の経営を担う人材の育成が急務であると考えます。

今日の医療機関経営を考えるに当たっては、病院単体の経営をミクロ的に考えるだけでなく、財政、政策、制度、医療経済、周辺の医療関連企業まで含めた、マクロ的に広範囲なヘルスケア産業という視点で研究する必要があると考えます。

あらゆる業界の英知と経験をヘルスケアサービスに応用すべく、医療従事者にメンバーを限らないように研究会を運営していきます。

(連絡先：山下 yasuyama1969@gmail.com)

2 活動の概要

2006年5月に発足させ、初年度は研究会メンバーの持ち回りによる研究報告会を開催し、2年目は、初年度実施の研究報告会をベースに、『医療と企業経営』（学文社）をまとめ2007年9月に出版させて頂く機会を得ました。

発足3年目となる本年度については、実際に医療の現場で経営に携わっている外部講師を招聘さ

せて頂き、連続講演会（全4回）を企画することに致しました。

第1回講演会は、4月19日（土）に、元マッキンゼーのパートナーで現在は株式会社メディヴァの代表取締役である大石佳能子氏より「患者視点での医療改革」というテーマでご講演頂きました。講演では、マッキンゼーやその他の業界のノウハウを実際の医療の現場でどのように活用されているのか、具体的な事例を取り上げてご紹介頂きました。